

あいち水循環再生基本構想の推進について

1 あいち水循環再生基本構想

- 目 標 : 「人と水との豊かなかかわりの回復・創造」
- 取組の方向性 : 上流から下流まで流域全体にわたって、「水質の浄化」など、水循環の機能での連携と、「森林の整備・保全」や「海づくり」など、テーマでの連携により、総合的な取組を実施する。
- 取組の進め方 : 流域ごとに地域協議会を設立し、流域全体での水循環再生に向けた取組を行動計画としてまとめ、事業者・民間団体などと連携して推進する。

2 これまでの経緯

- 平成18年 3月 あいち水循環再生基本構想の策定
(あいち水循環再生検討会 : 座長 藤江幸一 豊橋技術科学大学教授、
県民意識調査、県民ヒアリング、パブリックコメントを実施し、策定。)
- 平成19年 1月 尾張地域、西三河地域、東三河地域水循環再生地域協議会
～3月 の設立
- 平成19年 7月 あいちの水循環再生指標の作成
- 平成20年 3月 水循環再生行動計画策定 (予定)

3 水循環再生地域協議会

県内を尾張、西三河、東三河の3つの地域に分け、地域ごとに水循環再生地域協議会を設立。

水循環再生地域協議会では、水循環再生行動計画の策定を行うとともに、構成員が連携・協働して計画の推進を図る。

- (1) 尾張地域 : 平成19年3月26日設立
座 長 秀島栄三 名古屋工業大学准教授
構成員 農業協同組合、漁業協同組合、商工会議所、土地改良区、NPOの代表、
市町村、国、県(農林水産部、建設部、環境部)、名古屋港管理組合
- (2) 西三河地域 : 平成19年1月19日設立
座 長 富永晃宏 名古屋工業大学教授
構成員 森林組合、農業協同組合、漁業協同組合、商工会議所、土地改良区の代表、
矢作川沿岸水質保全対策協議会、市町、国、
県(農林水産部、建設部、環境部)
- (3) 東三河地域 : 平成19年1月26日設立
座 長 井上隆信 豊橋技術科学大学教授
構成員 森林組合、農業協同組合、漁業協同組合、商工会議所、土地改良区、
NPOの代表、
市町村、国、県(農林水産部、建設部、環境部)

4 平成19年度の取組状況

(1) 水循環再生行動計画の策定

尾張、西三河、東三河の各地域協議会において、水循環再生行動計画の策定作業中。(地域協議会の下部組織である作業部会において検討中。)

(2) 水循環再生モデル事業の実施

水循環の再生につながる環境技術の実証モデル事業を実施するとともに、地域協議会が今後取り組む地域のニーズと特性にあった先導的な取組をモデル事業として実施。

- ・ 環境技術実証モデル事業
水田の冬季湛水(安城市内、協力：明治用水土地改良区)
- ・ 地域活動モデル事業(地域協議会ごとに実施)

	各地域協議会で実施するモデル事業
尾張	○矢田川 身近な水辺再生と川の健康診断 矢田川流域の上・下流協働による、河川敷の草刈り・清掃等による川辺のビオトープづくり、水循環再生指標を使ったモニタリング調査など ○尾張水循環再生プロジェクト・大山川ルネッサンス07 大山川流域を対象に湧水の実態把握、源流から名古屋港までをたどる「水の旅」を実施
西三河	○おと川水源の森づくり 岡崎市を中心とした乙川流域水源林の森林整備・保全促進のための人材育成と間伐などによる森林整備活動
東三河	○東三河水循環再生フォーラム 全6回(テーマ):森・川・海でつながる地域 豊川流域における、水循環の現状、動植物、水文化などについて、講座開催や水循環・水文化の理解を深めるための現地見学会、公開シンポジウムなどを実施

(3) 水循環再生指標モニタリング体験講座の実施

5 平成20年度以降の取組予定

(1) 水循環再生行動計画の推進

(2) 水循環再生モデル事業、水循環再生指標モニタリング体験講座(継続事業)

(3) 三河湾里海再生プロジェクトの推進

古くから豊かな海の恵みをもたらしてくれる三河湾で、部局連携を強化し、里海再生に取り組む。



これまでに実施した干潟再生など、里海再生に向けた各施策の効果を評価し取りまとめるとともに、今後実施すべき環境改善施策の組合せを比較検討し、「三河湾里海再生プログラム」として取りまとめる。